第７９期

業務報告書

自　令和５年４月１日
至　令和６年３月31日

豊かな明日へのおてつだい
備北信用金庫

Bishin Report

基 本 方 針

備北信用金庫は
地元の皆様ならびに
中小企業者の方々の金融機関として
地域社会の発展に寄与する

経 営 方 針

(1)　中小企業金融の公共性に鑑み、広く地域経済と密着し、その繁栄に奉仕する。

(2)　経営に創意と総力を結集して、金庫の業容拡大と機能の充実をはかり経営体質の強化に努める。

(3)　人材の育成をはかり、職員の福利増進と生活水準の向上につとめ希望と活気ある明るい職場づくりに努める。

概　　要

創　　立	昭和６年 11 月２日
本　　店	岡山県高梁市正宗町 1964 番地の１
役職員数	89 名
店 舗 数	10 店舗
会 員 数	7,658 人
出 資 金	330 百万円
預　　金	125,883 百万円
貸 出 金	47,899 百万円

（令和６年３月末現在）

ごあいさつ

向暑の候、会員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

当金庫に対しましては、平素から格別のご支援とご愛顧を賜り厚くお礼を申し上げます。本年もここに、第 79 期の事業概況と決算の状況につきまして報告するにあたりご挨拶を申し上げます。

昨年度の我が国の経済は、コロナ禍を脱し、社会経済活動の正常化が進む一方で、ウクライナやパレスチナなどをめぐる地政学リスクが高まり、欧米の中央銀行の金融引き締めによる円安の長期化も加わり、世界の政治経済情勢が資源・穀物価格の上昇圧力となり物価が上昇し国内消費は停滞する一方で、金融緩和が継続され、労働人口減少による慢性的な人手不足もあり、雇用は拡大し、賃金上昇はみられたものの企業の設備投資拡大はみられませんでした。また、金融環境においては緩和的な金融政策が続けられる中、デジタル化、円安の恩恵を受ける企業を中心に業績が回復、株価は 34 年ぶりに最高値を更新、金融政策においては、物価上昇率の高まりに加え賃金上昇もあり日本銀行は、物価と賃金の好循環が持続的・安定的に見通せる状況から 17 年ぶりに政策金利を引上げ、短期金利をマイナス、長期金利をゼロパーセント程度に操作するイールドカーブ・コントロール政策を終了し、11 年続いた異例の金融緩和は正常化に向かいました。

そうした経済金融環境のもと、当地域の経済においては、カーボンニュートラルの動きからバイオマス発電所の新設などの投資に積極的な企業も一部見られますが、少子高齢化・人口減少などの構造的な問題による労働人口の不足に加え、資源価格高騰による経費、仕入価格上昇により、取引先企業の業績回復は緩慢なものとなり、当地域経済の回復は精彩さを欠いておりました。

こうした金融経済環境情勢のもと、信用金庫の原点である「相互扶助」の基本理念に基づき、取引先企業の経営環境の変化に的確に対応できるよう取引先の課題解決に取り組み、地域社会・経済の持続的発展に向け、預金面においては、各種預金キャンペーンに加え「吉備国際大学シャルム岡山高梁応援定期預金」などを続けるとともに、公金預金においては指定金融機関を継続、低金利環境下において流動性預金の滞留もあり預金残高は 125,883 百万円となり、融資面においては、事業者への金融支援はもとより、事業計画作成、事業承継、販路拡大、デジタル化対応として「ケイエール」の提供などの課題解決やコンサルティング機能の強化に努め、個人向けにおいては、ＷＥＢ完結ローンの推進等に取り組み、貸出金残高は 47,899 百万円となりました。収支面は、低金利環境が続く中において、効率的な資金運用に努め、厳正な諸償却と引当を行った結果、当期純利益を 189 百万円を計上しました。

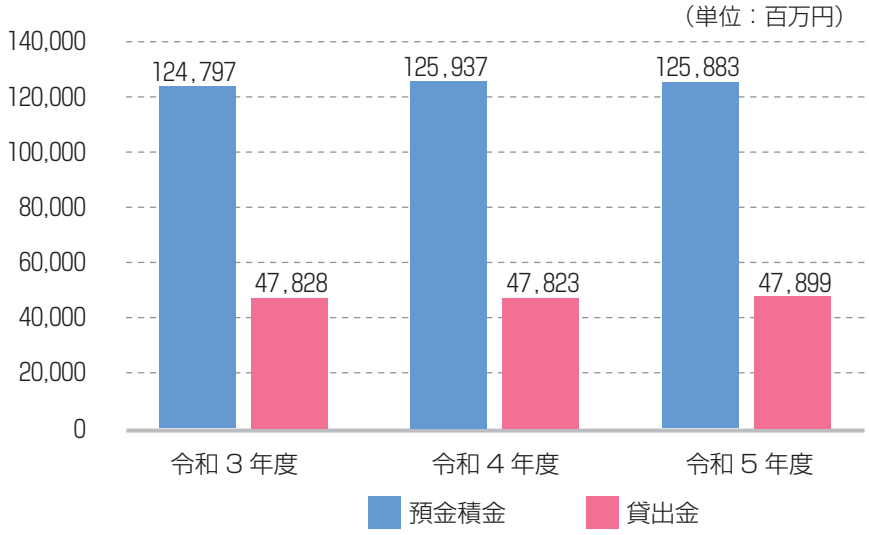
令和６年度の我が国の経済は、定額減税に加え、賃上げによる所得環境の改善、物価の落ち着きなどから個人消費の回復が見込まれ、加えてコロナ禍、物価高により見送られていたＤＸ化、省力化、脱炭素へ投資が進展すると考えられ、金庫においては、新たな中期３カ年計画の最終年度として、地域の事業者の方々への事業支援等のコンサルティング機能強化に努めるとともに、お客様とのリレーションシップの深化を進め、地域に根差した協同組織金融機関として会員、お客様の課題解決に尽力し、当地域の経済社会の持続的成長に貢献するとともに、法令遵守に徹し堅実経営に努めて参ります。

令和６年6月

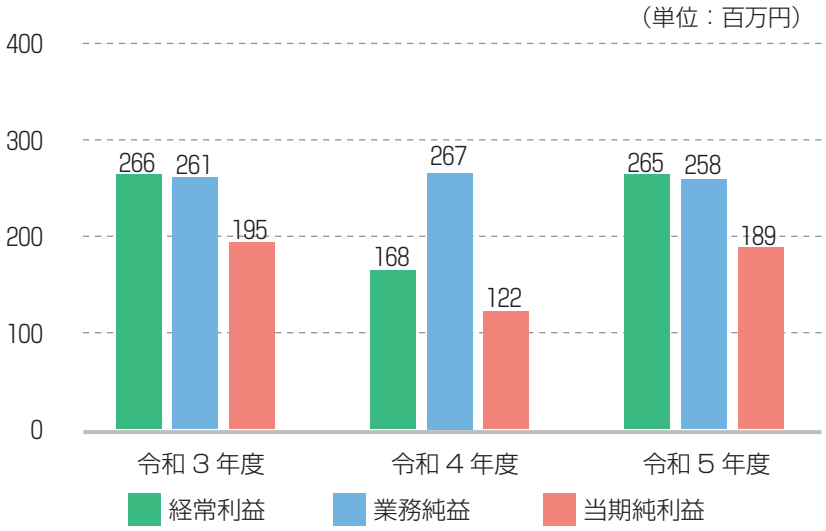
備北信用金庫
理事長　岡田誠治

業　績

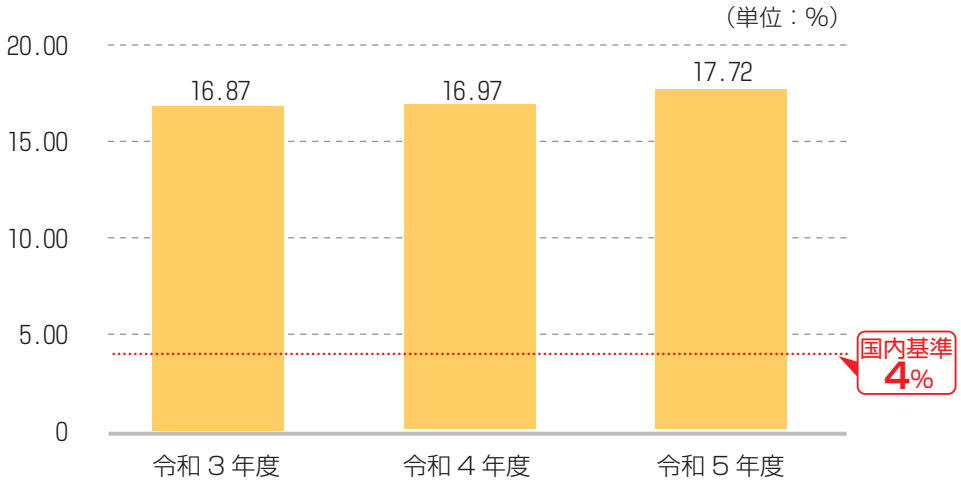
預金積金残高・貸出金残高の推移



経常利益・当期純利益の推移



自己資本比率の状況



リスク管理債権の状況

信用金庫法開示債権（リスク管理債権）及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

（単位：百万円、％）

	2022年度（令和4年度）	2023年度（令和5年度）
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	355	366
危険債権	756	1,001
要管理債権	13	5
三月以上延滞債権	-	-
貸出条件緩和債権	13	5
小計 (A)	1,125	1,373
保全額 (B)	1,120	1,373
保全率 (B)／(A) (%)	99.51%	100.00%
引当率 (%)	98.89%	100.00%
正常債権 (C)	46,964	46,804
総与信残高 (A)＋(C)	48,090	48,177

（注）

1．「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

2．「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権です。

3．「要管理債権」とは、信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額です。

4．「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に該当しない貸出金です。

5．「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。

6．「保全額」（B）は、「個別貸倒引当金」・「一般貸倒引当金」・「担保・保証等」の合計額です。

7．「引当率」は、（「個別貸倒引当金」＋「一般貸倒引当金」）÷（「小計」（A）－「担保・保証等」）より算出しております。

8．「正常債権」（C）とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「要管理債権」以外の債権です。

9．「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の「有価証券」中の社債（その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募（金融商品取引法第２条第３項）によるものに限る。）、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未収利息及び仮払金並びに債務保証見返の各勘定に計上されるもの並びに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券（使用貸借又は賃貸借契約によるものに限る。）です。

貸借対照表

第79期

令和6年3月31日現在

科目	金額	科目	金額
（資産の部）	千円	**（負債の部）**	千円
現金	**1,115,264**	**預金積金**	**125,883,886**
預け金	**49,505,143**	当座預金	2,260,443
買入金銭債権	**4,126,521**	普通預金	50,866,515
金銭の信託	**10**	貯蓄預金	17,563
有価証券	**32,243,889**	通知預金	130,010
国債	505,802	定期預金	65,501,343
地方債	7,093,410	定期積金	6,755,234
社債	19,591,670	その他の預金	352,776
株式	656,897	**借用金**	**287,250**
その他の証券	4,396,107	借入金	287,250
貸出金	**47,899,327**	**その他負債**	**271,817**
割引手形	140,070	未決済為替借	34,695
手形貸付	2,489,928	未払費用	24,290
証書貸付	42,904,908	給付補填備金	2,775
当座貸越	2,364,419	未払法人税等	96,740
その他資産	**910,348**	前受収益	6,169
未決済為替貸	10,432	払戻未済金	10
信金中金出資金	701,200	職員預り金	53,333
前払費用	78	リース債務	33,705
未収収益	196,655	その他の負債	20,097
その他の資産	1,981	**賞与引当金**	**32,089**
有形固定資産	**902,504**	**役員退職慰労引当金**	**61,822**
建物	158,411	**偶発損失引当金**	**1,327**
土地	636,510	**債務保証**	**211,218**
リース資産	31,475	**負債の部合計**	**126,749,411**
その他の有形固定資産	76,108		
無形固定資産	**3,955**	**（純資産の部）**	
ソフトウェア	1,773	**出資金**	**330,698**
その他の無形固定資産	2,182	普通出資金	330,698
繰延税金資産	**257,280**	**利益剰余金**	**9,608,283**
前払年金費用	**24,542**	利益準備金	331,911
債務保証見返	**211,218**	その他利益剰余金	9,276,372
貸倒引当金	**△ 639,512**	特別積立金	8,900,000
（うち 個別貸倒引当金）	（△ 552,096）	（体質強化積立金）	（1,960,000）
		（機械化対応積立金）	（ 20,000）
		当期未処分剰余金	376,372
		処分未済持分	**△ 40**
		会員勘定合計	**9,938,942**
		その他有価証券評価差額金	△ 127,859
		評価・換算差額等合計	**△ 127,859**
		純資産の部合計	**9,811,083**
資産の部合計	**136,560,494**	**負債及び純資産の部合計**	**136,560,494**

千円未満は切り捨てて表示しております。

損益計算書

令和５年4月１日から
令和６年3月31日まで

科目	金額	
	千円	千円
経常収益		**1,377,722**
資金運用収益	**1,129,229**	
貸出金利息	703,585	
預け金利息	102,374	
有価証券利息配当金	294,027	
その他の受入利息	29,241	
役務取引等収益	**144,683**	
受入為替手数料	35,735	
その他の役務取引等収益	108,947	
その他業務収益	**17,642**	
国債等債券売却益	7,662	
その他の業務収益	9,980	
その他経常収益	**86,167**	
株式等売却益	86,160	
その他の経常収益	6	
経常費用		**1,112,250**
資金調達費用	**27,477**	
預金利息	19,571	
給付補填備金繰入額	1,824	
借用金利息	5,840	
その他の支払利息	241	
役務取引等費用	**101,945**	
支払為替手数料	12,792	
その他の役務取引等費用	89,153	
その他業務費用	**24,647**	
国債等債券償還損	11,850	
その他の業務費用	12,797	
経費	**885,654**	
人件費	591,327	
物件費	273,191	
税金	21,135	
その他経常費用	**72,524**	
貸倒引当金繰入額	70,312	
その他の経常費用	2,212	
経常利益		**265,472**
特別損失		**146**
固定資産処分損	146	
税引前当期純利益		**265,326**
法人税、住民税及び事業税	98,423	
法人税等調整額	△ 22,162	
法人税等合計		**76,261**
当期純利益		**189,064**
繰越金（当期首残高）		**187,308**
当期未処分剰余金		**376,372**

千円未満は切り捨てて表示しております。

第79期
剰余金処分

当期未処分剰余金	376,372,587円

これを下記のように処分します。

剰余金処分額	159,920,508円
普通出資に対する配当金（年3%）	9,920,508
特別積立金	150,000,000
（うち体質強化積立金	50,000,000）
繰越金（当期末残高）	216,452,079

上記のとおりであります。

令和6年6月

備北信用金庫

理事長	岡田誠治	理事	柴倉清
常務理事	金地正晴	理事	中村浩巳
常務理事	福本智之	理事	宮﨑和司
常勤理事	河野訓秀	理事	磯村尚子
常勤理事	永田尚則		

前記各項を監査の結果、その正確なことを認めます。

常勤監事	西井孝行	監事	大森國正
監事	永井芳郎		

尚、有限責任監査法人トーマツによる監査の結果、適法と認められております。

（注）監事 永井芳郎は、信用金庫法第32条第5項に規定する員外監事です。

トピックス

令和５年度

４月　・「ゼロゼロ融資の出口戦略における事業性評価」研修会開催
・落合ふれあい公園祭りにボランティアとして参加

５月　・第６１回岡山県信用金庫野球大会を総社市スポーツセンターで開催
・ケイエールの導入研修実施

６月　・「信用金庫の日」のボランティア実施（各営業店で清掃活動等を実施）
・「信用金庫の日」各営業店で絵画展などのイベントを開催、来店者には記念品を贈呈
・第７８期通常総代会を開催
・第３５回理事長杯ゲートボール大会を開催（高梁浄化センター）

７月　・びしん経営者クラブで「基礎から学べる脱炭素セミナー」開催
・第２回備北信用金庫杯学童軟式野球大会を開催（新見ピオーネ球場）
・「吉備国際大学シャルム岡山高梁」に対しチーム強化支援金を贈呈
・「備中たかはし松山踊りうちわ」感謝状授与式及び贈呈式

８月　・備中たかはし松山踊り団体連へ参加

９月　・第１７回岡山県しんきん合同ビジネス交流会を開催（コンベックス岡山）

１０月　・第１３回理事長杯ゴルフコンペ開催

１１月　・高梁地区総代協議会
・新見地区総代協議会
・成羽愛宕花火大会へボランティアとして参加
・特殊詐欺防止の表彰を受ける（新見営業部）
・備中松山城の清掃ボランティア活動を実施
・介護予防のための運動法セミナー開催（成羽たいこまるプラザ）

１２月　・備北信交会・びしん経営者クラブ共催で日本銀行支店長講演会を開催

２月　・「愛らぶ高梁ふれあいマラソン」にボランティアとして参加しポップコーンを提供
・第３４回岡山県信用金庫ロールプレイング大会

３月　・「吉備国際大学シャルム岡山高梁」応援定期預金を発売
・第４１回中国地区信用金庫ロールプレイング大会
・地区内の新入学児童に対し学用品をプレゼント

信用金庫の日絵画展

第２回備北信用金庫杯学童軟式野球大会

備中たかはし松山踊り団体連

第17回岡山県しんきん合同ビジネス交流会

備中松山城清掃ボランティア

ロールプレイング大会

Bishin Report

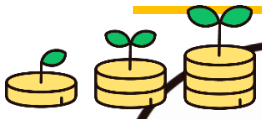
店 舗 一 覧

店 舗 名	住所・電話番号	ＡＴＭ利用時間
本　　店	〒716-0037 高梁市正宗町1964番地の1 TEL（0866）22-2191	平　日　8:45～19:00 土日祝　8:45～19:00
事務センター	〒716-0037 高梁市正宗町1967番地の7 TEL（0866）22-2192	
成 羽 支 店	〒716-0111 高梁市成羽町下原963番地の2 TEL（0866）42-2644	平　日　8:45～19:00 土日祝　8:45～19:00
下 町 支 店	〒716-0022 高梁市下町23番地 TEL（0866）22-2376	平　日　8:45～18:00 土日祝　　——
賀 陽 支 店	〒716-1122 加賀郡吉備中央町竹荘486番地の2 TEL（0866）54-1335	平　日　8:45～19:00 土日祝　8:45～19:00
北 房 支 店	〒716-1411 真庭市上水田2998番地の3 TEL（0866）52-3151	平　日　8:45～18:00 土日祝　　——
落 合 支 店	〒716-0061 高梁市落合町阿部1282番地の3 TEL（0866）22-1500	平　日　8:45～18:00 土日祝　　——
新見営業部	〒718-0003 新見市高尾2482番地の1 TEL（0867）72-4411	平　日　8:45～19:00 土日祝　8:45～19:00
中 央 支 店	〒718-0011 新見市新見866番地の1 TEL（0867）72-2160	平　日　8:45～18:00 土日祝　　——
正 田 支 店	〒718-0013 新見市正田257番地の11 TEL（0867）72-0724	平　日　8:45～19:00 土日祝　8:45～19:00
大 佐 支 店	〒719-3503 新見市大佐小阪部1501番地の2 TEL（0867）98-2878	平　日　8:45～18:00 土日祝　　——

店舗外ＡＴＭコーナー

所　在　地	ＡＴＭ利用時間
ポルカ天満屋ハピータウン	平　日　10:00～20:00 土日祝　10:00～19:00
イズミゆめタウン　高梁店	平　日　9:30～20:00 土日祝　9:30～19:00
吉　備　国　際　大　学	平　日　9:00～17:00 土日祝　　——
新　見　市　役　所	平　日　9:00～17:00 土日祝　　——
高梁市役所（共同設置）	平　日　9:00～18:00 土日祝　　——

資産形成はじめませんか？

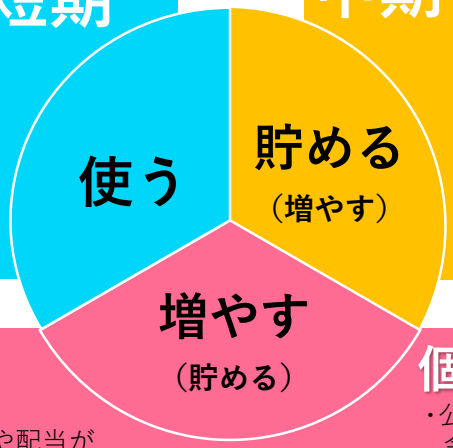


将来貰える年金だけで生活できるか心配…

物価上昇でお金の価値が下がるってほんと？何か対策できないの？

人生１００年時代、お金についての不安もいろいろ…
そんな将来のために、

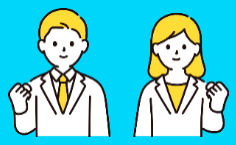
今から準備をはじめましょう!



短期

生活費・交際費などに備えるお金

普通預金
・いつでも使えるようにしておきたいという場合にお勧め



中期

車の買い替え・住宅費(リフォーム)などに備えるお金

定期預金
・期間を決めて目的に合わせた資金の用意が可能

定期積金
・少額からコツコツ確実に貯めたい

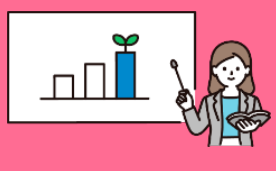
個人向け国債
・国が発行している債券なので安心
・固定金利の３年･5 年、変動金利の 10 年の３タイプから選択可能

長期

老後資金などに備えたすぐに使う予定のないお金

NISA
・成長投資枠を利用して売却益や配当が非課税
・つみたて投資枠を利用して毎月少額から積立投資

iDeco
・60 歳以降に老齢給付金として受取できる私的年金
・掛金は 65 歳まで拠出可能
・掛金が所得控除、受取時も控除の対象



個人年金保険
・公的年金に上乗せして準備できる私的年金
・支払った保険料の一部は所得控除の対象

生命保険(平準払終身保険など)
・保険料払込期間満了後に解約することで解約返戻金を老後資金などに充てることが可能

※商品についての詳細は、備北信用金庫の各店舗または職員までお問い合わせください。

豊かな明日へのおてつだい
備北信用金庫